

2015年4月

アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド 年2回決算型／毎月決算型

愛称：ロイヤルギフト

追加型投信／内外／株式



●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがあり、実際に生起する事象は相違することがあります。●当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

●当資料では、「アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド 年2回決算型」、「アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド 毎月決算型」の2本のファンドを総称して「アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド」という場合があります。

お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

設定・運用は



商号等:株式会社北海道銀行
登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号
加入協会:日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会





商号等:アムンディ・ジャパン株式会社(金融商品取引業者)
登録番号 関東財務局長(金商)第350号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ご存知ですか？

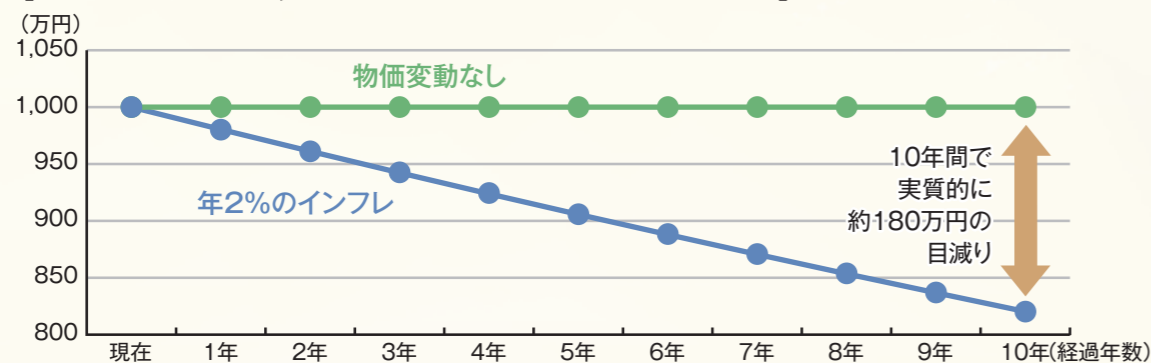
物価が上がる時に何もしないと、
資産は減ってしまうということを。

モノやサービスなどの価格が上がること=「インフレ」

【物価の変動】	2003年	2013年
 バター (1箱200g)	319円	391円
 電気代(電力量料金) (1kWh/1~120kWh)	16.36円	18.89円

*東京都都区部小売価格
出所:総務省統計局のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

【物価変動による1,000万円の実質的資産価値の変化】



「インフレ」に勝つことができる代表的な資産。

それが「**株式**」といわれています。

「株式」

さらに長期保有することで、債券よりも大きなリターンが期待できます。

【世界の株式と債券の価格推移(米ドルベース)】



1985年1月末を100として指数化。
世界株式:MSCIワールド・インデックス(配当込)、世界債券:シティ世界国債インデックスを使用。
期間:1985年1月末~2014年12月末、月次。
出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

長い期間持てば、増えていくといっても、いつ買えばいいのかわからない……



株式って値動きが大きくて、相場に振り回されそうで心配。

そのような株式につきまとう不安を解消する、

35年超の確固たる実績を残してきた**運用チーム**が存在します。

彼らが実質的な運用を担当する

アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド
(愛称:ロイヤルギフト)

をご紹介します。

実質的に**世界各国の株式等を主な投資対象**としたファンドです。

資産を減らさないという信念——

——それが増やすことへの近道

Making more by losing less

36年で、資産価値は104.1倍、マイナスになった年は4回のみ

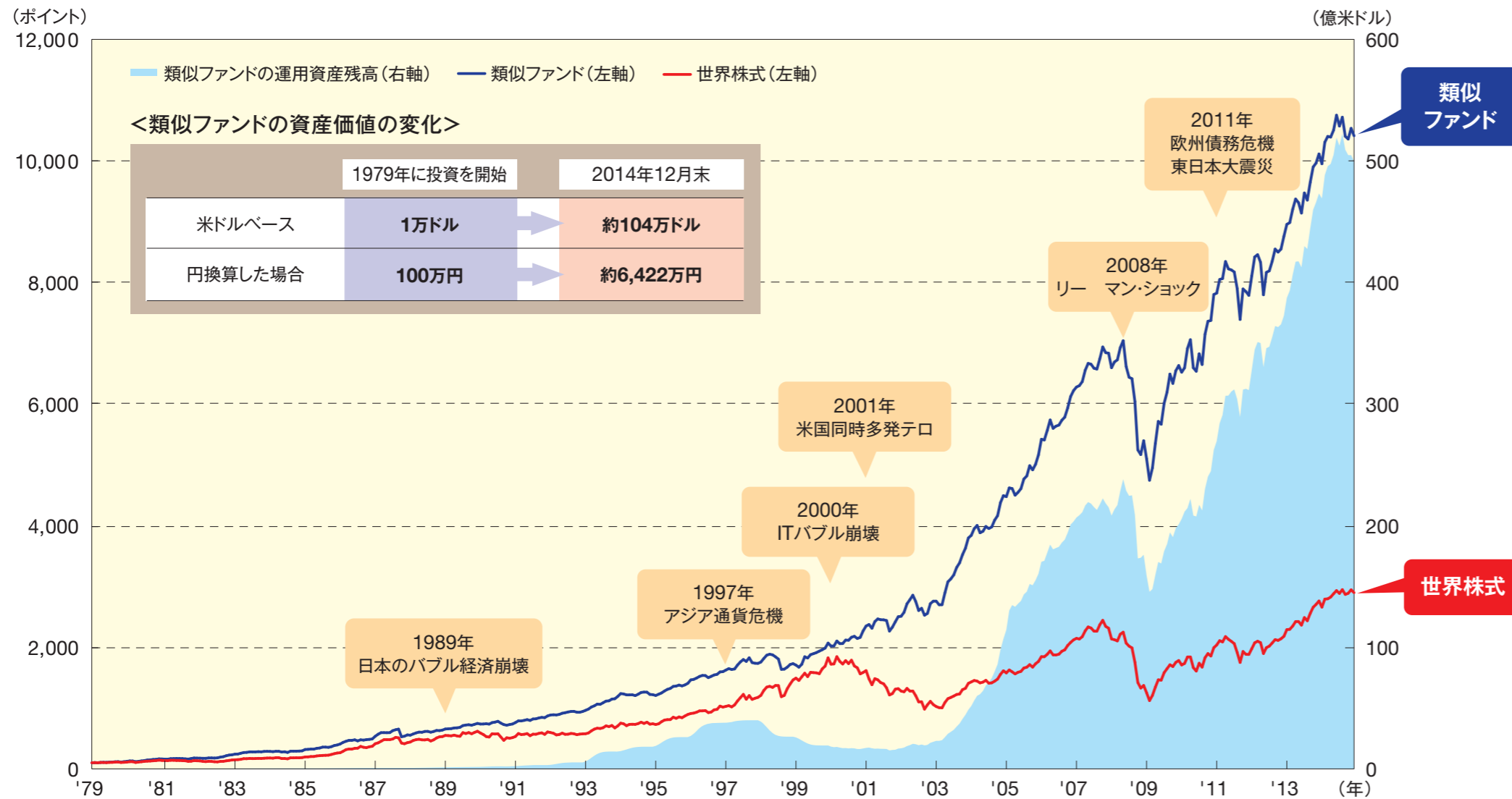
同期間の世界株式は29.0倍、マイナスとなった年は8回

上記は、「アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド」(以下、当ファンド)の将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

●設定来の運用実績

	類似ファンド	世界株式
米ドルベース	104.1倍(年率リターン13.8%)	29.0倍(年率リターン9.8%)
円換算した場合	64.2倍(年率リターン12.3%)	17.9倍(年率リターン8.3%)

●累積リターンと運用資産残高の推移(米ドルベース)



●年次リターン(米ドルベース)

年	類似ファンド	世界株式
1979	24.11%	10.95%
1980	31.66%	25.67%
1981	8.00%	-4.79%
1982	31.56%	9.71%
1983	24.03%	21.93%
1984	2.86%	4.72%
1985	32.71%	40.56%
1986	25.02%	41.89%
1987	13.76%	16.16%
1988	14.15%	23.29%
1989	17.21%	16.61%
1990	-1.30%	-17.02%
1991	17.93%	18.28%
1992	8.41%	-5.23%
1993	26.15%	22.50%
1994	2.52%	5.08%
1995	15.24%	20.72%
1996	13.64%	13.48%
1997	8.54%	15.76%
1998	-0.26%	24.34%
1999	19.56%	24.93%
2000	9.72%	-13.18%
2001	10.21%	-16.82%
2002	10.23%	-19.89%
2003	37.64%	33.11%
2004	18.37%	14.72%
2005	14.91%	9.49%
2006	20.50%	20.07%
2007	9.90%	9.04%
2008	-21.06%	-40.71%
2009	22.91%	29.99%
2010	17.58%	11.76%
2011	-0.19%	-5.54%
2012	12.46%	15.83%
2013	15.49%	26.68%
2014	2.93%	4.94%

語り継がれる運用チームの投資行動

日本のバブル経済崩壊 (1990年)
1988年、保有していた全ての日本株を売却。その後、バブル崩壊とともに、日本株が暴落。

ITバブル崩壊 (2000年)
インターネット、テクノロジー株には一切投資せず。

金融バブル崩壊 (2007年)
財務諸表が複雑化した銀行・証券会社には一切投資せず。

類似ファンド:費用控除後、世界株式:MSCIワールド・インデックス(配当込)を使用。累積リターンは1979年1月1日の前日の値を100として指数化。期間:1979年1月1日~2014年12月末、月次。MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。

出所:ファースト イーグル社、ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

「ファースト・イーグル・グローバル・ファンド(類似ファンド)」とは?

「アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド(愛称:ロイヤルギフト)」が投資する「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド(以下、ファースト・イーグルAIF)の運用チームが同じ運用手法で運用するファンドです。米国のファースト イーグル社が運用します。類似ファンドは米国内の投資家専用、ファースト・イーグルAIFは米国外の投資家向けのファンドであり、費用等が一部異なります。

上記は、「類似ファンド」の過去の実績を示したものです。「類似ファンド」は、米ドル建のファンドであり、円換算でのパフォーマンスの向上を目指すものではありません。また、上記は当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

運用チームの紹介と投資哲学

米国のファーストイーグル社のグローバル・バリュー・チームが運用を担当します。

- グローバル・バリュー・チームは、類似ファンドと当ファンドの主な投資対象である「ファーストイーグルAIF」の運用を行う運用チームです。
- ファーストイーグル社は、200年以上の歴史を有する、米国有数の独立系運用会社の一社です。
*ファーストイーグル社の会社概要については、P11をご覧ください。
- 運用チームは現在、21人体制で一貫した投資哲学に基づき、ファンドの運用を行っています。
*上記は2014年12月末現在の運用体制です。運用体制は今後変更となることがあります。



ファンドのしくみと特色

ファンドのしくみ

当ファンドは、複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。当ファンドの主な投資対象である「ファーストイーグルAIF」は、類似ファンドと同じ運用チームが、同じ運用手法で運用します。



類似ファンドとファーストイーグルAIFの違いは?

	類似ファンド	当ファンドの主な投資対象ファンド ファーストイーグルAIF
対象顧客	米国内の投資家専用	米国外の投資家向け
設定年月	1979年1月	1996年8月

「ファーストイーグルAIF」は、「類似ファンド」と運用チーム、運用手法は同一ですが、「ファーストイーグルAIF」では金現物に投資しないなど銘柄選択過程の一部や費用が異なります。

ファンドの特色

- 30年を超える長いトラックレコードと優れた運用実績がある「ファーストイーグル・グローバル・ファンド(類似ファンド)」と同じ運用手法の「ファーストイーグル・アムディ・インターナショナル・ファンド(ファーストイーグルAIF)」へ主に投資します。

*類似ファンドは、運用資産残高の急増により2005年3月より新規申込みの受付を中止していましたが、2008年1月から再開しました。なお、類似ファンドは米国内の投資家専用のファンドです。
ファーストイーグルAIFも2004年2月より新規申込みの受付を中止していましたが、2008年8月から再開しました。
*当ファンドも将来、運用資産残高の急増および市況環境の変化等により、新規申込みの受付を停止する場合があります。
- 主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

・世界各国(エマージング地域にも投資することがあります。)の株式を対象として、ボトムアップ方式により個別銘柄の調査を行い、PBR等の伝統的なバリュエーション分析のほか、様々な分析を加え、財務内容を徹底的に分析します。
・分析の結果、十分に割安で魅力的であると判断した銘柄でポートフォリオを構築します。
・特定の株価指数にとらわれない運用を行うため、ベンチマークを設定していません。
・当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんが、投資先の「ファーストイーグルAIF」において米ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、現地通貨売り/米ドル買いの為替取引を行うことがあります。
- 年2回決算型と毎月決算型があります。

哲

35年以上
引継がれてきた

運用チームの投資哲学

資産の保全

- 鉄則1：損をしないこと。
- 鉄則2：鉄則1を決して忘れないこと。

長期的に資産を増やすためには、取り返しのつかない大きな損失を出さないことが決定的に重要である。仮に自分以外が全員投資しても、自分が分からない物には決して手を出さない。

徹底的なバリュー(割安)投資

常に十分に割安な水準で投資し、割高な水準では売却する。例外を設けない投資行動。

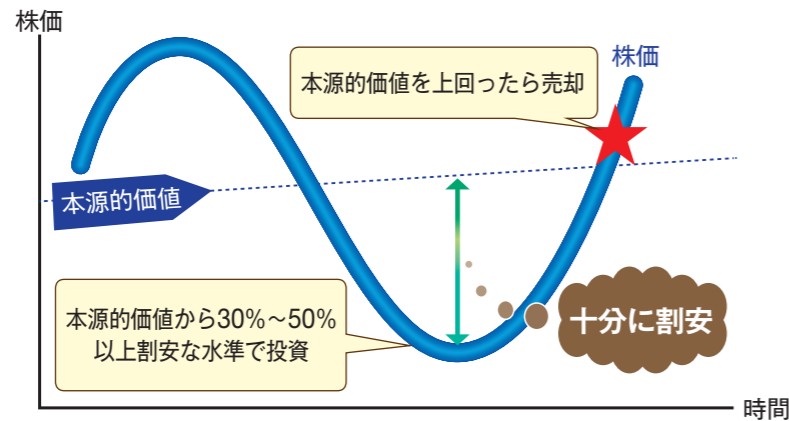
株価は短期的には企業価値からかい離することがあるが、長期的には本源的価値に収れんする。→長期的な投資家には収益機会が存在する。

長期的に、相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求

1 質の高い、優良な企業の株価が短期的に十分に割安になった水準で投資。

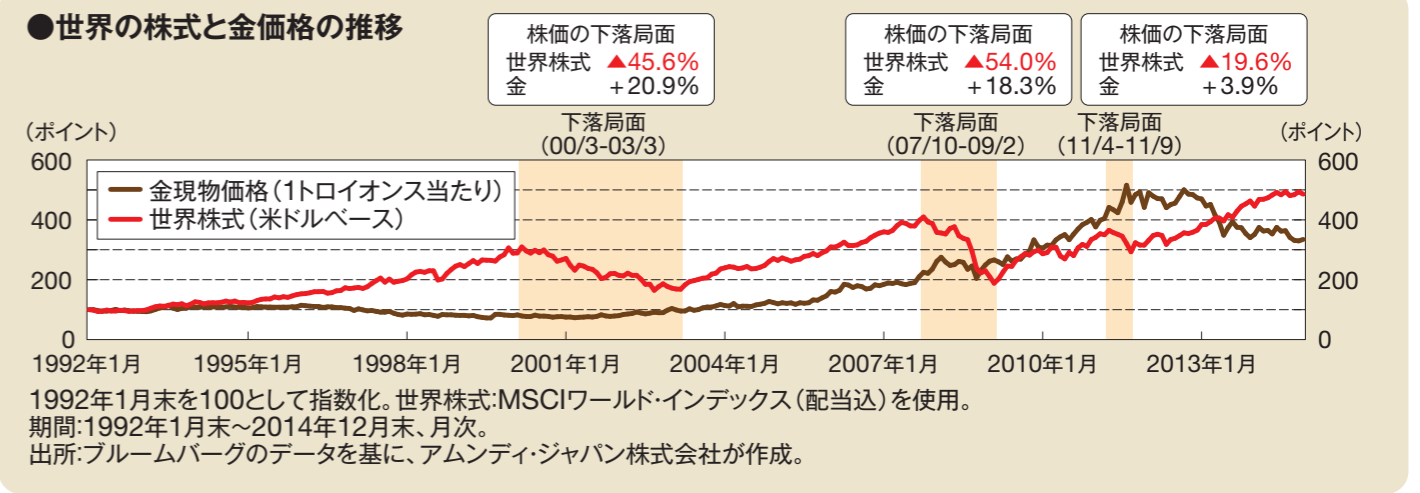
- 企業の本源的価値から30~50%以上割安な水準でのみ投資します。
- 本源的価値とは、ファースト イーグル社の徹底した独自分析により算出した「企業が本来有する価値」のことです。
- 十分に割安な水準で投資することにより大きく損をする可能性を少なくすることができる、という考えです。

● 本源的価値と株価の関係 (イメージ図)



2 不測の事態に対する備えとして金関連資産*を保有。

- 急速なインフレなど金融市場の混乱が起き、株式市場が下落した時に、金関連資産は株式とは異なる動きをします。
 - 国債や通貨とは違い、特定の国の信用には依存していないのもポイントです。
- * 金関連資産とは、金現物取引価格との連動を目指す債券や金関連株式をいいます。

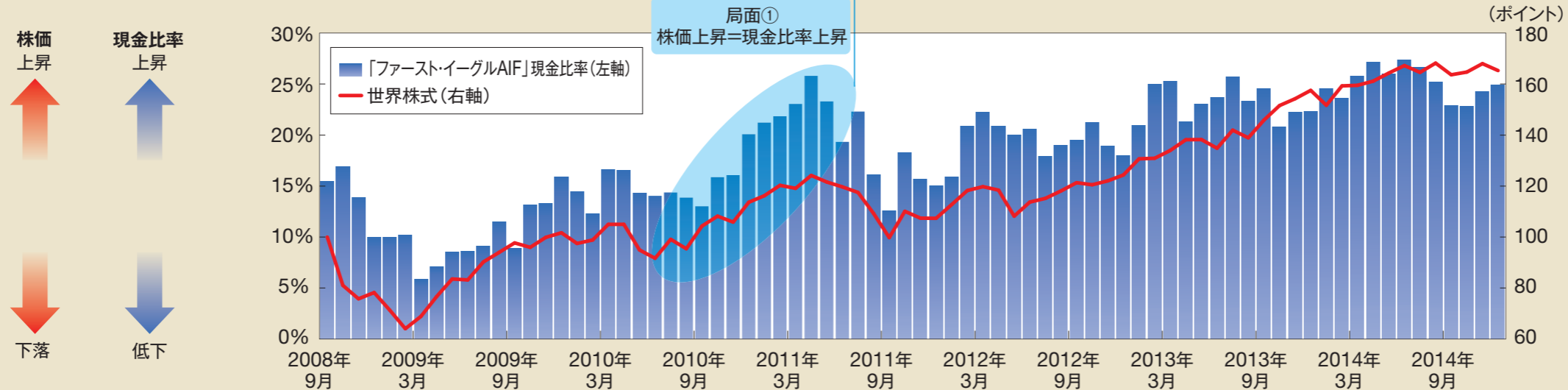


3 突然訪れる投資機会を逸することのないよう、現金比率を高め維持。

「将来は常に不透明であり、不確実である」という考えに基づき、例えば、株式市場が混乱し、優良な銘柄が十分に割安な水準となるような突然訪れる投資機会を逸することのないよう、現金比率を高め維持しています。

- 局面① 株価が全般的に上昇している時は、市場は割高な銘柄が増加し、投資機会が減るため、現金比率が上昇します。
- 局面② 株価が全般的に下落している時は、市場は割安な銘柄が増加し、投資機会が増えるため、現金比率が低下します。

● 世界株式と「ファースト・イーグルAIF」における現金比率の推移

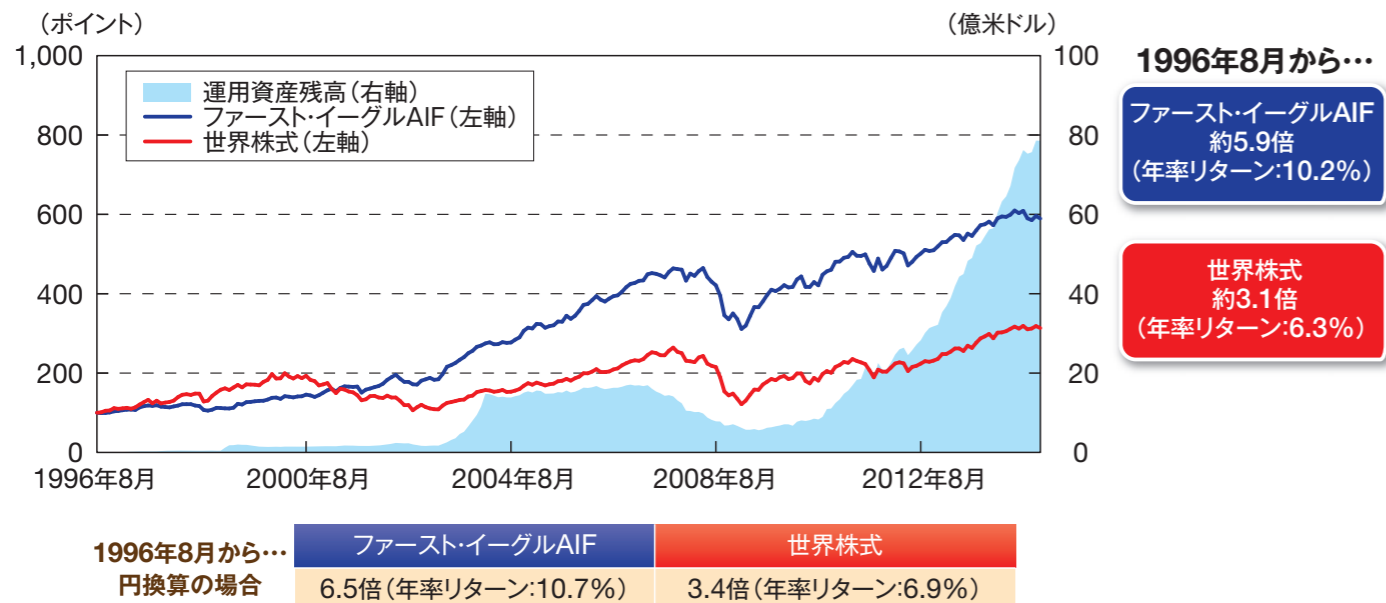


局面①
株価が全般的に上昇している時は、市場は割高な銘柄が増加し、投資機会が減るため、現金比率が上昇します。

世界株式は、2008年9月末を100として指数化。世界株式:MSCIワールド・インデックス (配当込) を使用。現金比率には現金同等物 (短期国債等) を含みます。
期間:2008年9月末~2014年12月末、月次。出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

当ファンドの主な投資対象である「ファースト・イーグルAIF」は、1996年から運用を開始しており、米国外の投資家向けに設定されたファンドです。

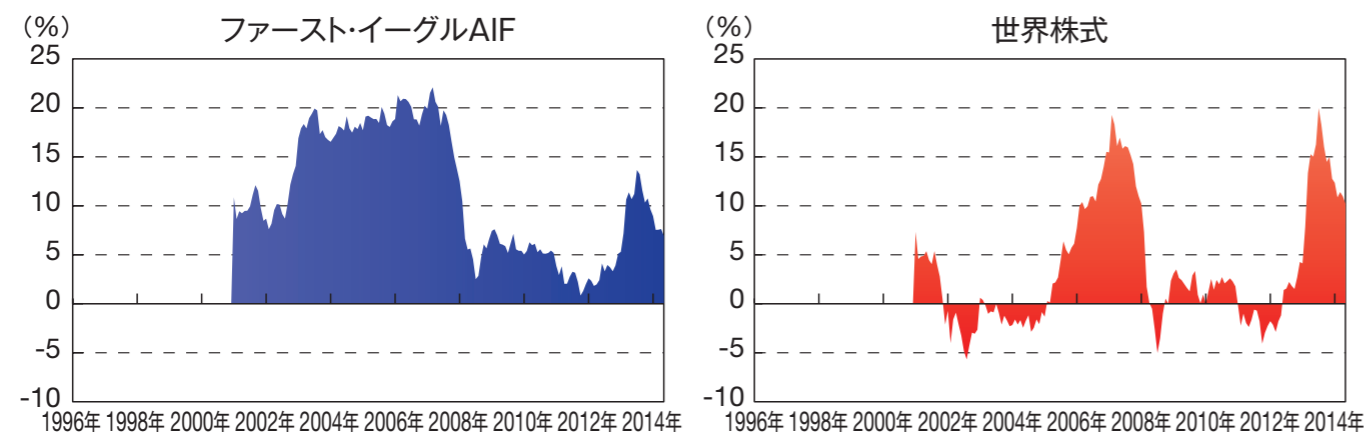
累積リターンと運用資産残高の推移(米ドルベース)



1996年8月9日を100として指数化。ファースト・イーグルAIFは費用控除後。世界株式:MSCIワールド・インデックス(配当込)を使用。
 期間:1996年8月9日(ファースト・イーグルAIF設定日)~2014年12月末、月次。
 出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

保有期間5年間の年率リターン(米ドルベース)

1996年8月末から2014年12月末までの月次データを基に、5年間保有した場合の年率リターンを算出したものです。
 例えば、2014年12月末の時点の年率リターンは、2009年12月末から2014年12月末まで5年間保有した場合の年率換算したリターンとなります。



ファースト・イーグルAIFは費用控除後。世界株式:MSCIワールド・インデックス(配当込)を使用。
 期間:1996年8月末~2014年12月末、月次。
 出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

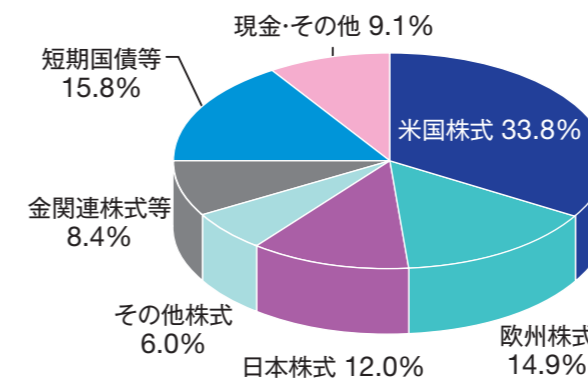


株式投資信託でありながら、独自の投資哲学を忠実に実践している結果、過去5年間保有した場合の年率リターン(米ドルベース)は全てプラスとなっています。

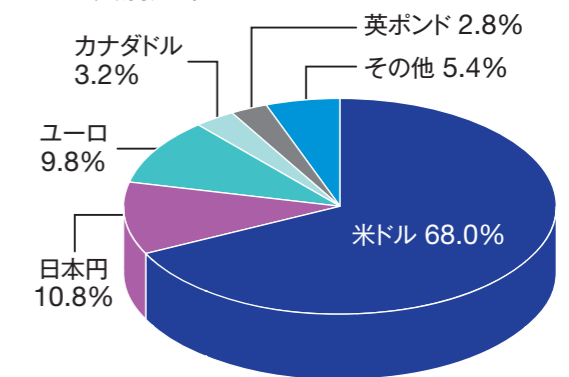
上記はファースト・イーグルAIFの過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

資産別・通貨別比率

●資産別比率



●通貨別比率



*株式と比較してリスク・リターンの向上が見込める場合には、社債等に投資します。
 *国・業種等の制限はありません。
 *比率は四捨五入の関係で100%にならない場合があります。
 *金ETCは金関連株式等に含まれます。

組入上位10銘柄

組入銘柄数:154銘柄

順位	銘柄名	国名	比率	概要
1	DB PHYSICAL GOLD ETC	英国	2.71%	金ETC(Exchange Traded Commodity)。金の現物を担保とする上場債券。金現物取引価格との連動を目指す。
2	ノースロップ・グラマン	米国	2.26%	航空宇宙産業、電子機器産業、情報システム産業にシステム、商品、ソリューションを提供する米国の企業。政府や世界中の企業に技術サービスを提供する。
3	マイクロソフト	米国	2.22%	世界最大のソフトウェア企業。ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売およびサポートを提供する。
4	オラクル	米国	2.19%	米国カリフォルニア州に本拠を置く世界的なソフトウェア会社大手。世界でトップシェアを占めるデータベース管理システムソフトに強み。
5	ETFS PHYSICAL GOLD	英国	2.03%	金ETC(Exchange Traded Commodity)。金の現物を担保とする上場債券。金現物取引価格との連動を目指す。
6	コムキャスト	米国	1.79%	ケーブルテレビ事業会社。ビデオ、高速インターネット、電話サービスも手掛ける。個人および商工業顧客に、各種娯楽番組、情報・通信サービスを提供する。
7	バンク・オブ・ニューヨーク・ Mellon	米国	1.58%	グローバルベースで展開する金融サービス会社。資産管理、クリアリング・サービス、資産サービス、財務サービス等を提供する。
8	インテル	米国	1.49%	世界最大の半導体メーカー。マイクロプロセッサ製品およびフラッシュメモリー製品などを販売。
9	3M	米国	1.37%	世界的な化学・電気素材メーカー。電子、通信、工業、消費・オフィス関連、ヘルスケア、保安など幅広い分野を手掛け、世界で事業を展開する。
10	セコム	日本	1.32%	広範囲にわたる警備サービスを提供。セキュリティ事業を中核として、防災、メディカル、保険、情報系、地理情報サービス事業などを展開。
合計			18.96%	

*比率は、ファースト・イーグルAIFの純資産総額に対する評価金額の割合です。

上記はファースト・イーグルAIFの過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

運用会社について

「ファースト・イーグルAIF」の運用会社

ファースト イーグル社(ファースト イーグル インベストメント マネジメント社)について

2014年12月末現在、運用資産残高は995億ドル(約12.0兆円)、うち500億ドル(約6.0兆円)を「ファースト・イーグルAIF」と同様の運用手法を持つ、ファースト・イーグル・グローバル・ファンド(米国籍)で運用しています。

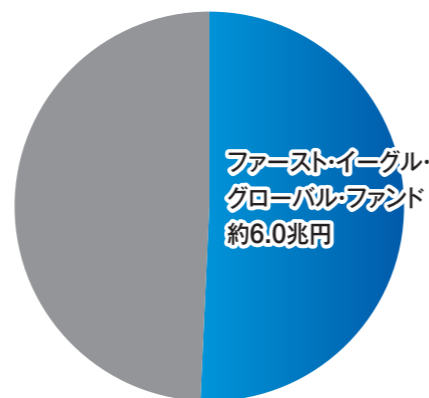
※2014年12月末の為替レートを使用。

- 米国を拠点とする独立系運用会社
- 1803年設立、本社：ニューヨーク
- 証券取引委員会登録
- 創業者、従業員が主に株式を保有
- 従業員数：約182名(2014年12月末現在)

《沿革》

- 1803年 エス・ブライシュローダー社がドイツ・ベルリンで創業
- 1864年 アンホールド社がドイツ・ドレスデンで創業
- 1931年 アンホールド社がエス・ブライシュローダー社を買収
- 1937年 本社をドイツから米国・ニューヨークに移転
- 2009年 社名をアンホールド・アンド・エス・ブライシュローダー社からファースト イーグル インベストメント マネジメント社に変更

運用資産残高 約12.0兆円



出所:ファースト イーグル社のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。2014年12月末の為替レート(1米ドル=120.55円)を使用して円換算。(2014年12月末現在)

「アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド」の運用会社

アムンディについて

アムンディは、8,214億ユーロ(約114兆円、1ユーロ=138.31円で換算)※の運用資産額を有する世界トップクラスの運用会社の1つです。

世界30カ国以上の主要な投資地域の中心に拠点をもち、すべてのアセットクラスや主要通貨を網羅する広範囲な運用商品を提供しています。

アムンディは、世界中の1億人以上の個人投資家のお客様のニーズに応えるべく、貯蓄・投資手段の提供に力を注いでいます。

また、機関投資家のお客様については、個別の要望やリスク許容度に応じた、革新的で良好なパフォーマンスを生み出すような商品を開発、提供しています。

※2014年6月末現在



アムンディ パリ本社

収益分配金に関する留意事項

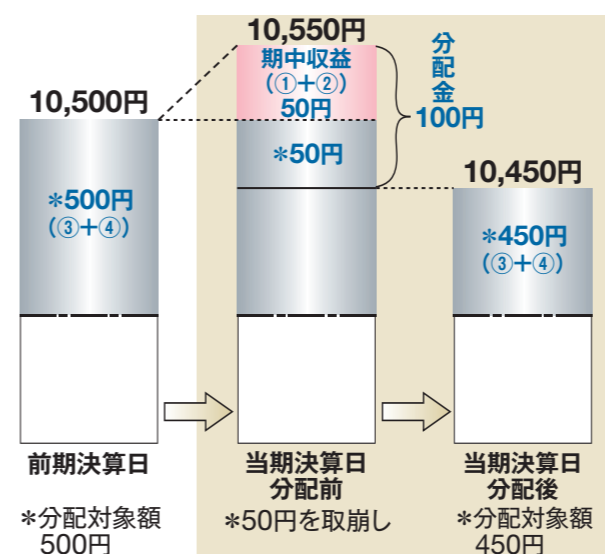
●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



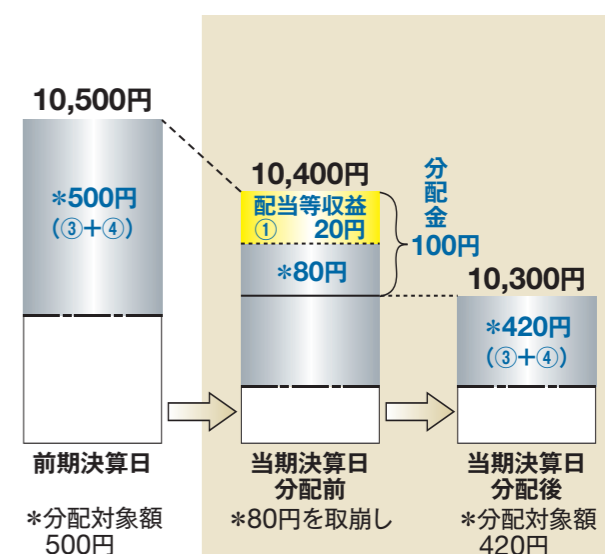
●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

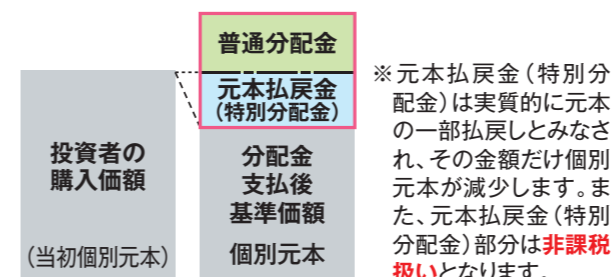


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

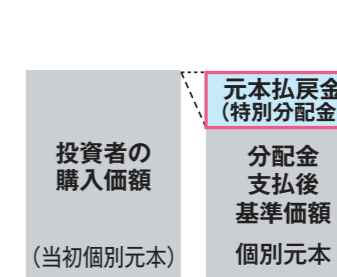
●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

①価格変動リスク

株式は、国内外の政治・経済情勢等の影響を受け、価格が下落するリスクがあります。一般に、株式市場が下落した場合には、その影響を受けファンドの基準価額が下落する要因となります。

ファンドは実質的に金関連株式等を組入れる場合があり、金の需給関係の変化、貿易動向、為替レート・金利の変動など様々な要因の影響を受けファンドの基準価額が下落する要因となります。

②流動性リスク

短期間で大量の換金があった場合または大口の換金を受けた場合、市場で売買可能な株式数の少ない株式では、売却価格が著しく低下することがあり、その影響を受けファンドの基準価額の下落要因となります。

③カントリーリスク

海外市場に投資する場合、投資対象国・地域の社会情勢または国際情勢の変化により、市場が不安定になることがあります。規制や混乱により期待される価格で売買できない場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

④為替変動リスク

一般的に外貨建資産を保有する場合、為替レートの変動により外貨建資産の円換算価格が変動します。外貨建資産の表示通貨での資産価格が変わらなくても、実質的に投資している外貨建資産の通貨に対して円高の場合、外貨建資産の円換算価格が下落するため、ファンドの基準価額の下落要因となります。

ファンドが主要投資対象とする「ファースト・イーグルAIF」では、米ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、現地通貨売り／米ドル買いの為替取引を行うことがあります。

ファンドは、米ドル建の「ファースト・イーグルAIF」に対して、為替ヘッジを原則として行いません。したがって投資する外貨建資産の為替レートの変動の影響を受けず。

⑤金利変動リスク

債券の価格は、金利が低下した場合には上昇する傾向にありますが、金利の上昇局面では下落することが多く、その影響を受けファンドの基準価額が下落する要因となります。

⑥信用リスク

組入有価証券の発行体が破たんした場合または発行体の破たんが予想される場合もしくは財務状況の悪化等により社債等の利息または償還金の支払いが遅延または履行されないことが生じた場合または予想される場合には、有価証券の価格が下落することがあります。

◆基準価額の変動要因(投資リスク)は上記に限定されるものではありません。

■その他の留意点

各ファンドの繰上償還

各ファンドは、それぞれ受益権総口数が10億口を下回った場合、投資対象とするファンドが繰上償還となった場合等には、信託を終了させることがあります。

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

◆詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

お申込みメモと手数料・費用等

お申込みメモ

	年2回決算型	毎月決算型
購入の申込期間	平成26年7月31日から平成27年9月4日までとします。 上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。	
信託期間	平成26年7月31日(設定日)から平成37年6月5日までとします。	
決算日	年2回決算、原則毎年6月5日および12月5日です。 休業日の場合は翌営業日とします。	年12回決算、原則毎月5日です。 休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	原則として毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。	
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに該当する場合、または12月24日である場合は受け付けません。	
購入単位	1万円以上1円単位	
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
換金代金	換金申込受付日より起算して、原則として7営業日目から販売会社においてお支払いします。	
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。	

手数料・費用等

投資者の皆様の実質的にご負担いただく手数料等の概要は以下のとおりです。ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資者が直接的に負担する費用			
購入時			
購入時手数料	購入申込総金額(手数料および消費税込みの購入申込金額)に応じて下記の料率を乗じて得た金額とします。		
	購入申込総金額	1,000万円未満	1,000万円以上5,000万円未満
	手数料率	3.24% (税抜3.0%)	2.70% (税抜2.5%)
			5,000万円以上
			2.16% (税抜2.0%)
換金時			
信託財産留保額	ありません。	換金時手数料	ありません。
投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用			
保有期間			
運用管理費用 (信託報酬) *本書作成日現在	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し年率0.8424%(税抜0.78%)を乗じて得た金額とします。 《信託報酬の配分および実質的な負担の上限》 (年率)		
	ファンド		0.8424% (税抜0.78%)
	投資対象とする 投資信託証券	ファースト・イーグルAIF*1	1.00% (上限、本書作成日現在) + 成功報酬
		CAマネーボールファンド (適格機関投資家専用)	0.378% (税抜0.35%) (上限、本書作成日現在)
	実質的な負担の上限*1*2	1.8424% (税込) + 成功報酬	
実際の信託報酬の合計額は投資対象とする投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。			
●「ファースト・イーグルAIF」の成功報酬について 成功報酬算定期間(毎年9月1日から翌年8月31日まで)において、「ファースト・イーグルAIF」の基準価額(当該日の成功報酬計算前)の収益率が、3カ月米ドルLibor+4%(年率)を上回った場合に、当該超過分に対して15%の成功報酬がかかります。成功報酬は、日々計上(再計算)されます(値下りの場合は戻し入れられます)。 ※1 成功報酬は運用状況によって変動するためその合計額は記載していません。 ※2 ファンドの信託報酬率0.8424%(年率・税込)に組入投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(「ファースト・イーグルAIF」年率1.00%)を加算しております。 (支払方法) 毎計算期間末または信託終了のときに、投資信託財産中から支弁します。			
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。		
委託会社・ その他の関係法人	委託会社:アムンディ・ジャパン株式会社 受託会社:株式会社りそな銀行(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) 販売会社:株式会社北海道銀行 等		
お問合せ先	委託会社:アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン:0120-202-900(フリーダイヤル)(受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページアドレス:http://www.amundi.co.jp		

●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●銀行を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込みください。●投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。